

教育目標 ふるさとを愛し、夢に向かって頑張る子どもの育成「笑顔いっぱい やさしいいっぱい 元気いっぱい 東っ子」



東小だより

睦月号

一年の計は元旦にあり

令和三年が明けました。皆様、今年もよろしくお願ひいたします。元旦は、御来光とともに晴れ渡る空が現れ、清々しい気持ちになりました。今年も東っ子の健全育成に励み、皆様方のご期待に沿えるようにと決意を新たにいたしました。さて、毎年、正月によく耳にする言葉に「二年の計は元旦にあり」があります。新しく迎える一年の目標や計画は、その年の初めの元旦に立てるべきである。」という意味だと捉えます。この言葉の由来は一説では戦国武将毛利元就の言葉にあると言われています。「二年の計は春にあり、一月の計は朔(ついたち)にあり、一日の計は鶏鳴(一番鶏が鳴く早朝)にあり。」と息子に宛てた手紙の一節が源だとのことです。諸説あるようですが、新しい一年の計画は、その年の初めに、月の計画は月の初めの日に、そして、今日の計画は、朝早くにたてる。」ということになるのです。物事の始まり、初めに臨む際の方法と心構えをつくるものとして、大切にしていきたいと考えます。本校の目指す子供像に「元気いっぱい東っ子」があります。私たちは、その姿を具現化するために「目標の堅持」を掲げています。子供たちが目標を強く、大きく、はつきりとさせて、それに向かうことで、元気が保たれるという考え方です。三学期は、年度のまとめであり、自分の成長を捉えさせることが大切です。一人一人の新年にかける思いは異なりますが、東っ子としての誇りを大切に、卒業進級していかうとする姿勢は全員同じであつてほしいと願います。そのために、四月から、自分が何を努力し、何が向上し、どう成長できたかについてしっかりと捉えていくことを東っ子の共通の目標にし、それを見出す計画をはつきりと持つて三学期を送つてほしいと思います。

お正月フोट

学力を高めるために

教育機関では、学力を高める方途について、多くの視点から調査研究が行われています。たくさんの方からデータをもとに傾向や共通点が示された報告書等は、教育指導を進める際の資料となります。今回は、その一部を紹介いたします。「学力の高い子供の特徴」についての調査結果です。①物事を最後までやり遂げる姿勢がある。②異なる考えの友達とコミュニケーションする能力が高い。③復習を重視し、学校で習う学習内容の定着を図ろうとする意欲が高い。④家庭学習で一定の学習時間を確保している。」というものでした。一読しただけで、「よし子だなあ」と感心してしまいます。また、「こんな自律した子供に」と目指す像を抱きます。そこで以上のような姿を具現化するために、我々大人が努力できることや、支援できることを考えてみました。

- ①基本的な生活習慣を整える
- ②食生活を充実させる (特に朝食)
- ③よいところをほめ、自信を持たせる
- ④努力することの大切さ、やり抜くことの大切さを教える
- ⑤考えを伝えられるようになることを重視する
- ⑥社会貢献など、人の役に立つ人間になることを重視する
- ⑦ボランティア活動等への参加を促す
- ⑧知的好奇心を高め働きかけをする
- ⑨文字に親しませ、読書を勧める
- ⑩計画的に勉強するように促す
- ⑪多く話題で、会話の機会を増やす
- ⑫行事やPTA活動に積極的に参加する

学力は、机上活動だけでは高まりません。生活様式を習慣化し、視野を広げ、考え方を高め、内面を耕すことなど、多面的な関わりによって、総合的な力として向上していくものです。そこには、子供自身の努力は不可欠ですが、我々大人が、その環境を整えることも重要な要素だと考えます。教える「こと」にも、支え、育む「こと」を大切にしたいと願ひいたします。



どんどや(上揚地区)1/7



積雪1/8

収穫しました 低学年の子供たちが取り組んできた野菜づくりが収穫の時を迎えました。大根、ブロッコリー等、どの野菜も見事な出来ばえです。先日は収穫した大根を私にもプレゼントしてくれました。大根を抱えた東っ子の顔は、とても誇らしげで輝いていました。ご指導いただいた江良様に心よりお礼申し上げます。「命を育て、命を頂く」学びが深まったように感じます。



学校生活の状況

12月に実施した「心のアンケート」の結果について、お知らせします。東っ子の学校生活、学習の充実度は高く、多くの制約のある中であつて嬉しい結果となりました。しかし、自分をきちんと評価し受け入れたり、人の役に立っているという実感については、多少低い結果となりました。子供たちの言動について、認めほめ、励ますことを中心とした働きかけを強化し、自己肯定感、自己有用感の高揚に努めてまいります。なお、いじめについては2件の認知がありました。詳細な聞き取りと観察及び指導・支援に取り組んでおり、現在、いじめの継続もなく、解決の方向に向かっている状況です。今後とも、いじめの根絶に向けて高い意識をもって取り組んでいく所存です。

「心のアンケート」(12月)の結果		
質問項目	回答	百分率
◇学校生活	楽しい	92.7%
◇授業	分かる	92.7%
◇自己肯定感	高い	78.0%
◇自己有用感	高い	79.7%
◇通信可能端末所持率	持っている	69.9%
◇端末使用上ルール	ある	65.6%

あとがき 先日、ある商店に立ち寄りました。その際に、レジの傍に掛けてあつた額が目に留まりました。記してあつたのは「喜」という文字でした。あまりの達筆さに、しばらく眺めていると、いつも目にする「喜」と少し違うことに気づきました。どう見ても画数が多いのです。不思議に感じ注視していると、文字の横に、「喜びには、ありがたいの気持ちがかけています。」というコメントを見つけました。そして再度文字を見てみると、「喜」の中に「あ・り・が・と・う」の5文字があることに気づきました。ひらがなと漢字の融合、違う言葉同士の関係性など、文字を通して心が動いた瞬間でした。日本語の奥深さを感じました。「喜び」は、確かに高い相手意識、感謝の心によって生まれることがあります。子供たちにも紹介したい発見でした。

